

子どもの生活実態調査（支援機関等）

皆様には、日頃から市政に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、大分市では、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、子どもの将来を応援するために、今後どのような取組が必要になるのか検討を進めており、今回、家庭の経済状況にかかわらず、すべての子どもが健やかに成長していけるよう必要な方策を検討するため、関係する機関の皆様にご協力をいただき調査を実施させていただくこととなりました。

ご多用の折、大変お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

令和5年7月

大分市

（回答にあたって）

- 各質問のご回答は、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」「いくつでも」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
- 質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内に沿ってお答えください。
- 「その他」を選ばれたときは、その内容を（ ）の中に記入してください。

（アンケート用紙の回収について）

次のいずれかの方法で、**2023年8月18日（金）**までにご提出ください。

1. 郵送回答

ご記入後、アンケート用紙を折って同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。

2. インターネット回答

次のURLまたはQRコードから回答画面へアクセスし、回答してください。

https://src3.webcas.net/form/pub/src2/oitashi_kodomo



（その他）

- 本調査は個人情報保護法を遵守し、お名前など個人情報の取り扱いには、細心の注意を払っております。
- 返送いただいたアンケート用紙の取り扱いについては、全てを統計的に処理し、お答えいただいた方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ありません。

このアンケートは大分市 子どもすこやか部 子ども企画課が（株）サーベイリサーチセンターに委託して実施しています。

【本調査に関するお問い合わせ先】

子どもの生活実態調査事務局

（株）サーベイリサーチセンター九州事務所内）

TEL：092-411-8811

（平日 9：00～12：00、13：00～17：00）

1

所属について

問1 所属している組織、またはあなた自身について教えてください。

機関の名称			
代表者名		従業員数	約（ ）名
記入者	職名（ ）		
勤務（活動）年数	約（ ）年		
主な支援対象	1. 就学前児童（1. 保育園 2. 幼稚園 3. こども園 4. その他） 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. 保護者 6. 妊婦 7. その他（ ）		
主な支援（活動）範囲	1. 自治区内 2. 小学校区内 3. 中学校区内 4. 市内 5. 隣接している市町村内まで 6. その他（ ）		

2

ヤングケアラーについて

問2 あなたが所属している組織では「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。
（○は1つだけ）

- | | |
|--|-------|
| 1. 言葉を知らない
2. 言葉は聞いたことあるが、具体的には知らない
3. 言葉は知っているが、所属している組織としては特別な対応を行っていない
4. 言葉を知っており、所属している組織として意識した対応を行っている | } 問4へ |
|--|-------|

問2で「4. 言葉を知っており、所属している組織として意識した対応を行っている」と答えた機関にお聞きします。

問3 「ヤングケアラー」だと思われる子どもに対して連携して支援した関係機関はどこですか（〇はいくつでも）

1. 市の高齢者福祉部門
2. 市の障害福祉部門
3. 要保護児童対策地域協議会（子ども家庭支援センター）
4. 市の児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会を除く）
5. 市の保健（福祉）センター・健康支援室
6. 市の教育委員会
7. 市の生活保護部門
8. 地域包括支援センター
9. 指定障害児相談支援事業所
10. 病院・診療所
11. 児童相談所
12. 婦人相談所や配偶者暴力相談支援センター、民間シェルター等の DV 被害者を対象とした支援を行う機関・団体
13. ヤングケアラーと思われる子どもやその兄弟姉妹が通う学校や保育園など
14. 地域の関係者（民生委員・児童委員、主任児童委員、子ども会関係者、近隣住民等）
15. フリースクール・子ども食堂等の子ども対象とした支援を主に行う民間団体・施設（公的な事業を委託されている場合も含む）
16. その他（）

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいはしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

問4 「ヤングケアラーはこんな子どもたちです（上記イラスト）」を見て、現在所属する組織や身の回りに「ヤングケアラー」と思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。（〇は1つだけ）

1. いる
2. いない → 問9へ
3. わからない → 問9へ

問4で「1. いる」と答えた機関にお聞きします。

問5 「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握しましたか。（〇はいくつでも）

1. 子どもの様子（訴え）
2. 家族からの相談
3. 周りの方からの情報
4. その他（

）

問4で「1. いる」と答えた機関にお聞きします。

問6 「ヤングケアラー」と思われる子どもがお世話をしている家族は誰ですか。

(〇はいくつでも)

1. 母親	2. 父親
3. 祖父母	4. 兄弟姉妹
5. その他の家族 ()	

問4で「1. いる」と答えた機関にお聞きします。

問7 「ヤングケアラー」と思われる子どもの状況は下記のうち、どれですか。

(それぞれ、1つに〇) ※このアンケートでいう「お世話」とは、もともと大人がするものと考えられる家事や家族の世話のことです。

項目	ほぼ毎日	週に3〜5回	週に1〜2回	月に数日	全くしない
① 家事（食事の準備や掃除、洗たく）	1	2	3	4	5
② 兄弟姉妹の世話や保育所等への送りむかえ	1	2	3	4	5
③ お風呂に入ることやトイレのお世話など	1	2	3	4	5
④ 外出の付きそい（買い物、散歩など）	1	2	3	4	5
⑤ 病院への付きそい	1	2	3	4	5
⑥ 感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になる、元気づけるなど）	1	2	3	4	5
⑦ 見守り	1	2	3	4	5
⑧ 通訳（日本語や手話など）	1	2	3	4	5
⑨ 金銭管理（電気代を支払う、銀行でのお金の出し入れなど）	1	2	3	4	5
⑩ 薬を決められた通りに使うようにすること	1	2	3	4	5
⑪ 家計を支えるために仕事（家業など）の手伝いをしている	1	2	3	4	5
⑫ アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱えている家族の対応をしている	1	2	3	4	5
⑬ その他 ()	1	2	3	4	5

問4で「1. いる」と答えた機関にお聞きします。

問8「ヤングケアラー」と思われる子どものいる家庭に対して、どのような支援を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 他機関との連携
2. 他機関からの情報収集
3. ヤングケアラーに関する周知
4. サービス利用の提案・調整
5. 相談対応・面談
6. 諸手続きに関する支援
7. 支援環境・体制の整備
8. 家庭環境の把握
9. 課題分析
10. 訪問
11. 支援計画作成
12. 見守り
13. 会議の実施
14. 支援者としての寄り添いの姿勢
15. 学習支援
16. 医療的介入
17. その他 ()

3 困難を抱えている家庭全般について

問9 日頃の業務の中で、経済的に困窮するなど困難を抱える家庭の子どもや保護者に接することはありますか。(〇は1つだけ)

1. ある

2. ない→ 問12へ

問9で「1. ある」と答えた機関にお聞きします。

問9-1 困難を抱える家庭は、具体的にどのような状況ですか。(〇はいくつでも)

1. 授業料・保育料等の支払いができない	2. 医療費の支払いができない
3. 医療機関に受診させない	4. 経済的な理由で退学(退園)した
5. 遠足や修学旅行などの参加費の支払い ができない	6. 給食費の支払いができない
7. 弁当を持ってこない	8. 学級費や諸雑費の支払いができない
9. 部活動・クラブ活動にかかる費用の 支払いができない	10. 制服・体操服などを買うことができない
11. お風呂に入れていない	12. 清潔な服装をしていない
13. 自宅が片付いていない	14. 朝食を食べさせていない
15. 夕食を食べさせていない	16. 不登校(保育所・幼稚園においては、保護者が 連れてこない)
17. 子どもと連絡がとれない	18. 保護者と連絡がとれない
19. その他(具体的に) ()

問9で「1. ある」と答えた機関にお聞きします。

問9-2 どのような経路で困難を抱える家庭と把握しましたか。(〇はいくつでも)

1. 本人から相談があった	2. 家族や親類から相談があった
3. 近所の人や友だちから支援依頼が あった	4. 関わる子どもの状況(服装、持ち物等)で把握した
5. 関わる家族の状況(経済的困窮)で 把握した	6. その他(具体的に) []

問9で「1. ある」と答えた機関にお聞きします。

問10 問9で答えていただいたような困難を抱える家庭に対し、どのような支援を行っていますか。（「定期的な訪問」「相談窓口につないでいる」といったことも、行っている支援としてご記入ください。）また、支援を行う中で工夫されていることがありましたら、具体的な内容を教えてください。

子どもへの支援（放課後の学習支援などの具体的な内容を教えてください。）

保護者への支援（相談機関につなぐ、制服等のリユースなど具体的な内容を教えてください。）

その他の家族への支援（支援サービスに関する情報提供など具体的な内容を教えてください。）

問9で「1. ある」と答えた機関にお聞きします。

問11 困難を抱える家庭に対する支援を行う中で、特に悩んだり難しかったりしたことは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 相談する場所がなかった・わからなかった	2. 支援を行いたくても予算がなかった
3. 支援を行うノウハウがなかった	4. 子どもと連絡がとれなかった
5. 保護者と連絡がとれなかった	6. 多忙で対応できなかった
7. 専門的知識のある職員が不足し、対応できなかった	8. どこまでかかわる必要があるのかが、わからなかった
9. 特定の家庭を特別に支援することへの批判が懸念された	10. 対応できる体制がなかった
11. その他(具体的に)	
[]

問12 現在、困難を抱える家庭に対する支援を行う上で、連携している機関や団体などありますか。(〇はいくつでも)

1. 医療機関	2. 弁護士
3. 民生委員・児童委員	4. 警察
5. 保育園・幼稚園・こども園	6. 小・中学校
7. 高校	8. 大学
9. 保護者会・PTA	10. 児童福祉施設
11. ボランティア・NPO 団体	12. 大分県社会福祉協議会または大分市社会福祉協議会
13. ハローワーク	
14. 大分市役所(連携している課などの口にチェックしてください)	
<input type="checkbox"/> 生活福祉課：生活保護、生活困窮者等の支援	
<input type="checkbox"/> 子育て支援課：児童福祉、母子・父子福祉等、子育て支援、子ども医療費等の助成、子どもに関する各種手当	
<input type="checkbox"/> 子ども家庭支援センター：児童・妊産婦の福祉に係る相談・援助、児童虐待防止、DV相談・DV被害者に対する支援	
<input type="checkbox"/> こどもルーム・子育て交流センター：子育て相談・子育てに関する情報の収集・提供	
<input type="checkbox"/> 放課後児童クラブ：放課後等に適切な遊びと生活の場を提供	
<input type="checkbox"/> 子ども入園課：保育園・幼稚園に係る各種手続	
<input type="checkbox"/> 健康課：各種健康診査、母子・成人・老人・歯科に関する相談・訪問指導	
<input type="checkbox"/> 保健予防課：予防接種、難病対策、感染症対策、精神保健	
<input type="checkbox"/> 教育委員会：教育行政の基本的な施策調整、学校教育に係わる指導	
15. その他()	16. 特にない → 問13へ

問12で「1～15」(連携している機関や団体などがある)と答えた機関にお聞きします。

問12-1 その連携先との連携方法を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 連携協議会の設置	2. ケース検討会議の実施
3. 同行・同席支援	4. 電話照会・協議
5. 他の専門機関の紹介 (他機関へのつなぎ)	6. その他(具体的に)
	[]

問12で「1～15」(連携している機関や団体などがある)と答えた機関にお聞きします。

問12-2 連携する際の課題はありますか。

(他団体の取組内容がわからない、個人情報の共有の仕方など具体的な内容を教えてください)

問13 今後、困難を抱える家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援が必要であると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場 やサービス	2. 低い家賃で住める住居の提供
3. 生活や就学のための経済的補助	4. 進路や生活などについて相談先の紹介
5. 自然体験や集団遊びなど多様な活動機会	6. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
7. 会社などでの職場体験等の機会	8. 仕事に就けるようにするための支援
9. 子どものみで無料もしくは安価で食事が できる場所	10. 進学や資格を取るための学習の支援
11. 子どもの医療費にかかる費用軽減	12. 学生服や学用品などの再利用促進
13. 掃除や料理など基本的な生活能力を習得 するための支援	14. 家事支援などの援助
15. その他(具体的に)	16. 特にない
[]	

問14 困難を抱える家庭の子どもへ好影響を与えるにはどのような要素が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 保護者の関わり方	2. 信頼できる大人の存在
3. 仲の良い友だち	4. 支援者の存在
5. その他(具体的に)	6. 特にない
[]	

問15 困難を抱える家庭の保護者へ好影響を与えるにはどのような要素が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 収入の安定	2. 祖父母・親類とのよい関係
3. 夫婦仲がよい	4. 支援者の存在
5. その他(具体的に)	6. 特にない
[]	

問16 日頃の業務の中で、困難を抱える家庭の妊婦やその夫(パートナー)に接することがありますか。(〇は1つだけ)

1. ある	2. ない→ 問17へ
-------	-------------

問16で「1. ある」と答えた機関にお聞きします。

問16-1 困難を抱える家庭の妊婦やその夫(パートナー)は具体的に、どのような状況ですか。(〇はいくつでも)

1. 定期的な妊婦健診を受けていない	2. 病気の治療を受けていない
3. バランスのとれた食事を摂っていない	4. 生活習慣が整っていない
5. 出産・育児物品の準備ができていない	6. 経済的に困窮している
7. 虐待またはDVが疑われる	8. その他()
9. 特にない	

問16で「1. ある」と答えた機関にお聞きします。

問16-2 問13で答えていただいたような困難を抱える家庭に対し、どのような支援を行っていますか。「定期的な訪問」「相談窓口につないでいる」といったことも、行っている支援としてご記入ください)

妊婦やその夫(パートナー)への支援(医療機関への受診勧奨など具体的な内容を教えてください)

問17 今後、新たな支援を検討する上で課題となることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 財政面	2. 人材の確保
3. 他団体・機関との連携不足	4. 個人情報の入手・管理
5. 情報共有手段	6. その他(具体的に)
7. 特にない	[]

問18 今後、困難を抱える家庭の子どもや保護者に対する支援のため、大分市としてどのような対策が必要だとお考えですか。

問19 最後にご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。これでアンケートは終了です。
アンケート用紙は返信用の封筒(切手不要)に入れて、8月18日(金)までに投函してください。

※本市機関については逡送便でお送りください。